

## 小池賢治教授主要経歴・著作目録

雑誌名	駿河台経済論集
巻	20
号	2
ページ	209-212
発行年	2011-03
URL	<a href="http://doi.org/10.15004/00000505">http://doi.org/10.15004/00000505</a>

## 小池賢治教授主要経歴・著作目録

生 年 月 日 1940年 4 月21日

### 略 歴

1966年 3 月：慶応義塾大学経済学部修士課程卒業

1966年 4 月：アジア経済研究所（経済成長調査部）入所

1970～72年：インドDelhi School of Economicsに留学

1986～88年：フィリピンAsian Institute of Managementに留学

1991～95年：アジア経済研究所地域研究部長

1996～98年：同研究所バンコク研究センター長

1999年 4 月：駿河台大学経済学部教授

2006～7 年：在外研究（ロンドン・グラスゴー）

2002～09年：「駿大・地域フォーラム」大学側代表

その他、非常勤講師〔津田塾大学、アジア大学、大東文化大学（大学院）、横浜国大（大学院）など〕。

### 著 作

#### 単著

『経営代理制度論』（アジア経済研究所，1979）。

（本書は、英Macmillan社による翻訳と出版のオファーを受けている。）

#### 編著

『世界の財閥経営』（日本経済新聞社，1981）。

『アジアの公企業—官営ビッグ・ビジネスのパフォーマンス—』（アジア経済研究所，1982）。

『発展途上国の企業経営—担い手と戦略の変遷』（アジア経済研究所，1986）。

『フィリピンの経済政策と企業』（アジア経済研究所，1988）。

『発展途上国のビジネス・グループ』（アジア経済研究所，1993）。

- 『中国改革開放と華人ネットワーク (所内資料)』(アジア経済研究所, 1996)。  
*Philippine Business Leaders* (IDE, 1983).  
*Business Management in the Developing Economies* (IDE, 1986).  
*National Development Policies and the Business Sector in the Philippines* (IDE, 1988).  
*The Chinese-Filipino Business Families under the Marcos Government* (IDE, 1995).  
*Overseas Investment by Asian Business Groups* (IDE, 1997).  
*Financial Crises in Thailand: Adjustment of Local Companies* (IDE, 1998).

## 共著

- 『アジア開発のメカニズム—工業変—』(アジア経済研究所, 1971)。  
『インドの金融事情』(アジア経済研究所, 1975)。  
『発展途上国のビジネス・リーダーシップ』(アジア経済研究所, 1984)。  
『イギリス帝国経済の構造』(新評論, 1986)。  
『中国経済の国際化と東アジア』(アジア経済研究所, 1987)。  
『東アジアと中国の経済ネットワーク化』(アジア経済研究所, 1988)。  
『アジアの都市化：フィリピン』(日本評論社, 1998)。  
『フィリピンの工業化—再建への模索—』(アジア経済研究所, 1989)。  
『南アジア (地域研究シリーズ)』(アジア経済研究所, 1991)。  
『世界のチャイニーズ：膨張する華僑・華人の経済力』(サイマル出版会, 1991)。  
『中国経済の国際化と東アジア』(アジア経済研究所, 1997)。  
*Development Strategies for the 21<sup>st</sup> Century* (IDE, 1991).

## 学術論文

- 速水佑次郎・稲木絹代・小池賢治「農業生産性と工業化水準」(『アジア経済』 9-9, 1968)。以下, 単著。  
「経営代行制度の一検討」(『三田学会雑誌』 67-10, 1974)。  
「インド綿業と市場問題—19世紀後半期のボンベイを中心に—」(『アジア経済』 16-9, 1976)。

- 「経営代行制度の本質規定をめぐって」(『アジア経済』17-1・2, 1976)。
- 「アジアの資本形成とマネジング・エージェンシー・システム」(『社会経済史学』第48回大会特集号, 45-5, 1980)。
- 「鉱山商會と『グループ・システム』」(『アジア経済』23-7, 1982)。
- 「フィリピンの財閥経営—ソリアの財閥の『ゼネラル・マネジャー制度を中心として』」(『アジア経済』24-12, 1983)。
- 「フィリピンの財閥経営—ソリアの財閥の創始者A・ソリアーノを中心として」(『アジア経済』25-5・6, 1984)。
- 「企業研究」(「日本における発展途上国研究: 1978-85」テーマ編・経済)(『アジア経済』27-9・10, 1986)。
- 「アキノ政権下のアヤラ財閥—多角化の新展開と所有経営構造の変化」(『アジア経済』32-11, 1991)。
- 「イギリス代理商會による高島炭鉱の『代理人』経営—本邦最初の合併事業と経営代理制度」(『駿河台経済論集』14-2, 2005)。
- 「イギリス代理商會のグループ経営システム(1)」(『駿河台経済論集』17-1, 2007)。
- 「イギリス多国籍商社の経営システムと収益メカニズム: H & Cを中心として—経営代理資本主義分析への一接近—」(『駿河台経済論集』21-2, 2011)。
- ‘The Ayala Group during the Aquino Period: Diversification along with a Changing Ownership and Management Structure’, *Developing Economies* (Dec., 1993)。

## 社会的ニーズに応じた時局解説リポートなど

- 「取り巻き優先主義が裏目—マルコス流財閥操縦法の実態」(『世界週報』1986・2・25)。(ただし、本稿はマニラ赴任直前であったため小曽根治のペンネームで執筆)。
- 「アキノ政権下, 旧財閥復活旧ピッチ」(『THIS IS読売』1986・7)。
- 1986~88のフィリピン滞在中, フィリピン日本人商工会議所『所報』に日系企業11社のインタビュー記事連載など。
- 「選挙に見たフィリピン—政財界の構図」(『アジア研ニュース』1992・2)。
- 「フィリピンの選挙と財閥」(『国際金融』1992・8・15)。

「政権交代と直結する財閥の栄枯盛衰」(『世界週報』1992・9・15)。

「特集：アジアの華人系企業グループ：フィリピン」(『アジア研ニュース』1994・11)。

「華人系企業グループの対フィリピン投資」(『アジア・トレンド』1994・12)。

「21世紀に向かうフィリピンの華人財閥」(『アジア研ワールド・トレンド』1996・11)。

バンコク日本人商工会議所編『タイ国経済概況 1996／97年版』第14章「地域経済交流」執筆。

「タイ財閥の海外投資 (上・下)」；「情報産業に託すマレーシアの国興し」；「タイ経済再生のシナリオに向けて」(バンコク日本人商工会議所編『所報』1997-2・6・7・9)。その他、タイ滞在中に日本人向け週刊新聞『タイ経済』に寄稿。

「並大抵でない経済再生への道のり」(『世界週報』1998・2・24)。

#### その他：企業等への情報サービス提供

- (1) アジア経済研究所等での各種講演会・シンポジウム講師。
- (2) JICA・民間企業の海外赴任者への「現地経済事情」解説など。